

第2部

とちぎづくり 戦略

第1章 ● 政策の基本「人づくり」

政策の基本に据えた「人づくり」の方向性や取組について、子ども世代、若者世代、大人世代、シルバー世代というライフステージに応じて、「人をはぐくむ」、「人を活かす」の2つの視点に立って明らかにします。

第2章 ● 重点戦略

目指す将来像をより確実に、効果的に実現していくため、「暮らしを支える安心戦略」、「明日を拓く成長戦略」、「未来につなぐ環境戦略」の3つを重点戦略として位置付け、戦略を具体化するための取組を明らかにします。

第3章 ● とちぎづくり戦略の推進に向けて

とちぎづくり戦略の推進に向けて、「協働によるとちぎづくり」、「選択と集中による県政運営」、「とちぎの自治のかたちづくり」の3つをテーマに、県自らが進めていく取組を明らかにします。

とちぎづくり戦略は、時代の潮流や本県の特徴などを踏まえながら、重要度や優先度に基づく選択と集中による施策の重点化を図り、将来像である「**安心**」「**成長**」「**環境**」をともにつくる、**元気度 日本一 栃木県**をより確実に、より効果的に実現していくための戦略です。

この戦略は、とちぎづくりの原動力となる「人づくり」を政策の基本に据えながら、「暮らしを支える安心戦略」、「明日を拓く成長戦略」及び「未来につなぐ環境戦略」の3つの重点戦略から構成されています。

戦略の土台となる「人づくり」においては、子ども世代、若者世代、大人世代、シルバー世代というライフステージに応じて、一人ひとりの能力を高め、自らの夢を実現していくための「人をはぐくむ」視点と、培われた能力を広め、絆を結ぶことによって、新たな活力を生み出すための「人を活かす」の2つの視点に立って、とちぎの「人づくり」を進めていきます。

また、3つの重点戦略においては、「人づくり」を基盤に、プロジェクトの着実な推進を通して、将来像の実現を図っていきます。

「安心」「成長」「環境」をともにつくる
元気度 日本一 栃木県

暮らしを支える
安心戦略



明日を拓く
成長戦略



未来につなぐ
環境戦略



政策の基本 **人づくり**

とちぎづくり戦略の体系

政策の基本人づくり

ライフステージ

子ども世代

若者世代

大人世代

シルバー世代

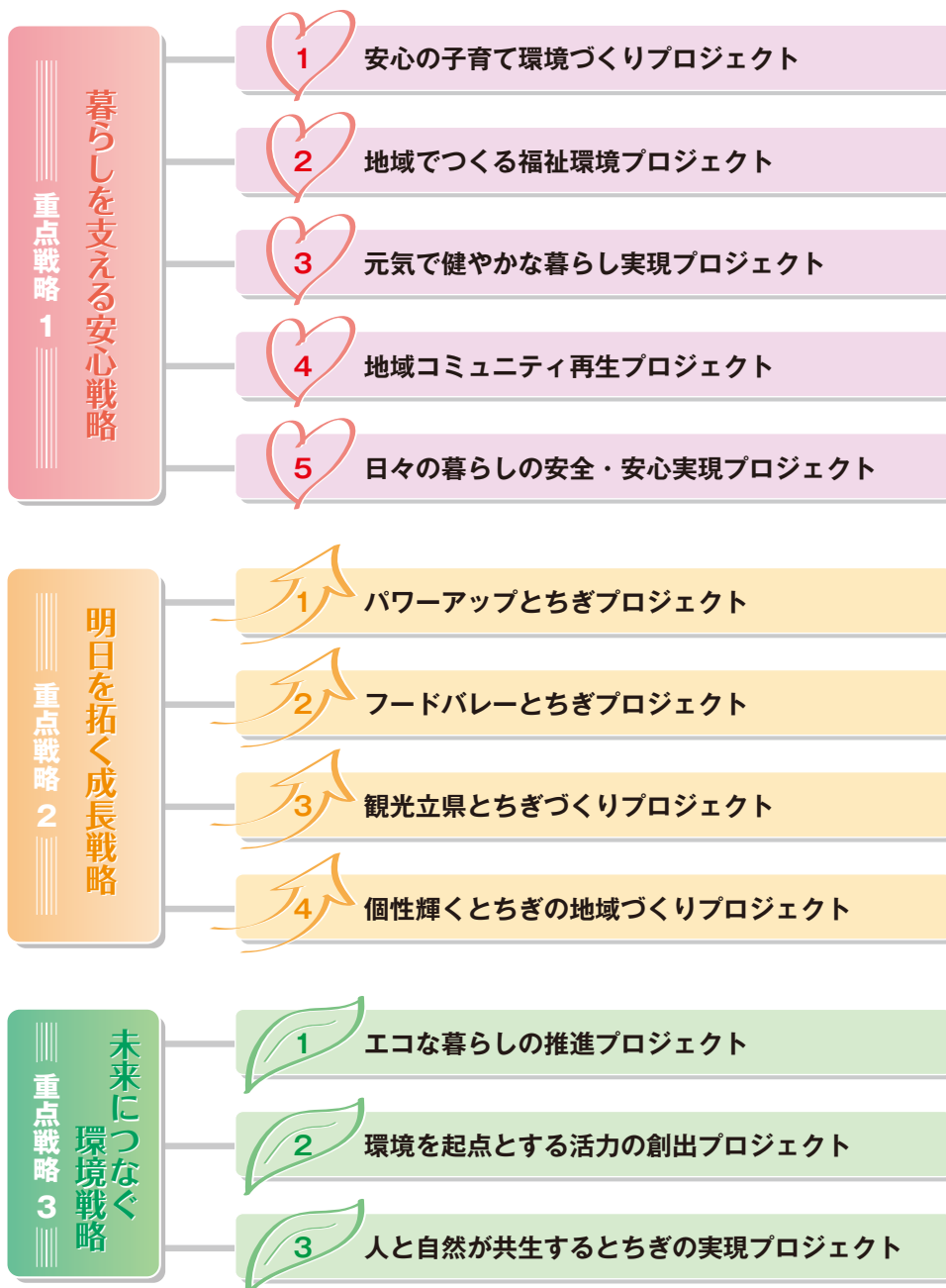
子育て世代

人をはぐくむ

人を活かす

文化・スポーツを通じた人づくり

重点戦略



第1章 ● 政策の基本「人づくり」

とちぎづくりの原動力は人であり、「人づくり」こそ、とちぎづくりの原点です。
県民一人ひとりが自立し、自己実現を図りながら、地域や社会の担い手となり、力を発揮することができる「人づくり」を進めます。



人づくりの視点

政策の基本「人づくり」では、

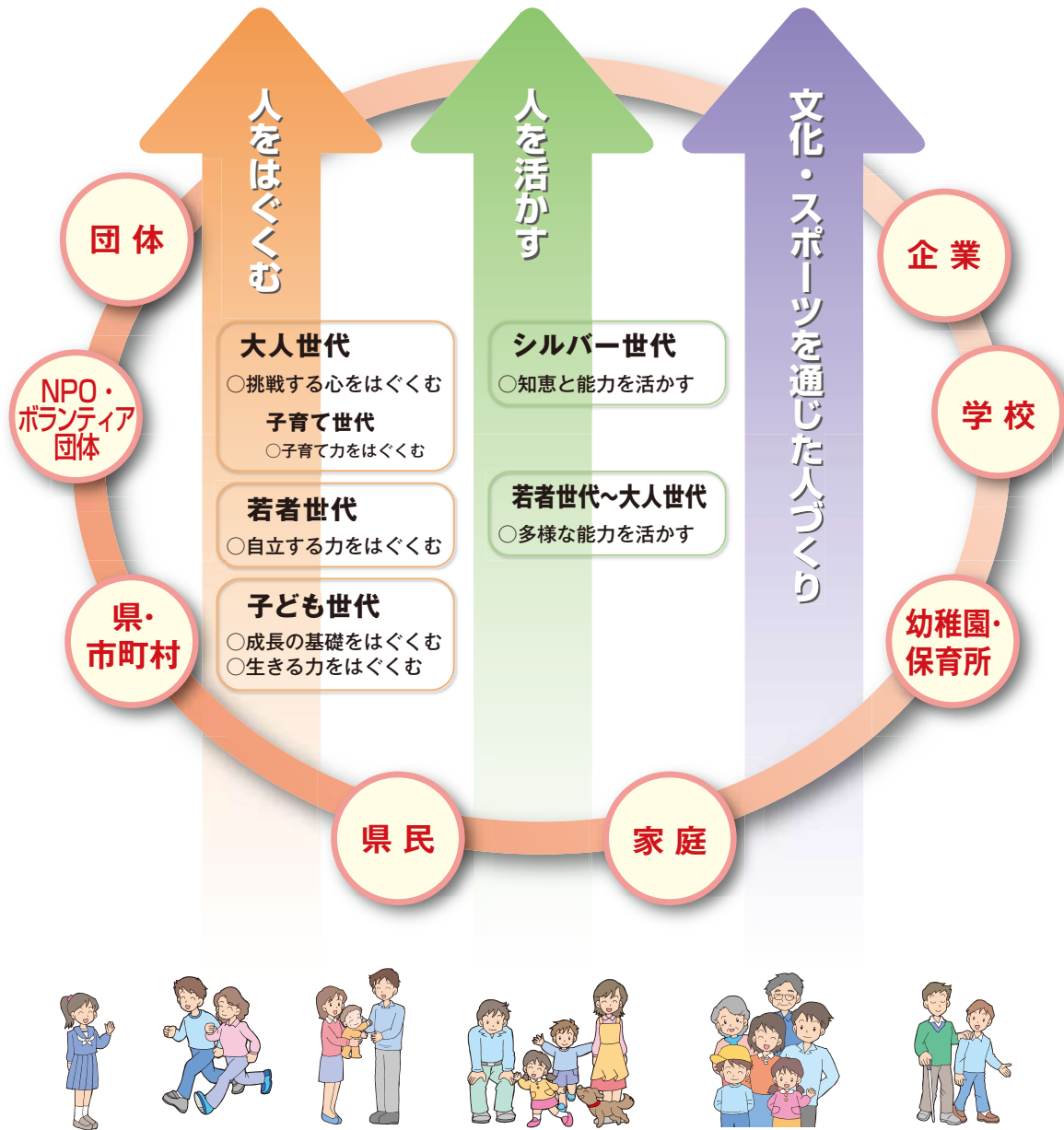
- 人をはぐくむ
- 人を活かす

の2つの視点に立って、人の成長や人生の節目に合わせながら、子ども世代、若者世代、大人世代、シルバー世代の4つのライフステージに応じた取組を展開します。

「人をはぐくむ」の視点では、一人ひとりが自立し、それぞれの夢や希望の実現に向け挑戦していく人づくりを進めます。

「人を活かす」の視点では、こうした人たちが、とちぎづくりの担い手として、それぞれの個性や能力を活かしながら活躍できる仕組みづくりを進めます。

さらに、あらゆる世代が参加し、取り組むことができる文化・スポーツ活動を通じて、健全な心身の形成を図るとともに、人と人とのつながりを深めていきます。





子ども世代

生きる力を身に付け、夢や希望を持って成長していけるよう、次の時代を担う子どもたちをはぐくみます。

成果指標

☆ 将来の夢や目標を持っている小学生の割合(小6)

現況 (H22)
87.6%

(全国平均86.8%)

目標 (H27)
90.0%

「将来の夢や目標を持っている」小学6年生の割合
☆9割以上を目指します。

☆ 「とちぎの子どもの基礎・基本」の習得状況(中2)

現況 (H21)
76.8%

目標 (H27)
80.0%

「とちぎの子どもの基礎・基本」^{*1}の習得状況(平均正答率)
☆毎年度8割以上を目指します。

☆ 小・中学校における不登校児童生徒の出現率

現況 (H21)
1.39%

(全国平均1.15%)
(全国順位46位)

目標 (H27)
減少を目指す

児童生徒総数に対する不登校児童生徒の出現率
☆毎年度、前年度の出現率を下回ることを目指します。

* 成果指標の全国順位について

増加を目指す指標は、数値の大きい方からの順位、減少を目指す指標は、数値の小さい方からの順位である。

※1 学習指導要領の目標及び内容を分析し、県教育委員会が独自に、小1から中3までの児童生徒が身に付けるべき基礎的・基本的な知識・技能等を系統的・体系的に示したものの

成長の基礎をはぐくむ

- 幼児期の子どもが、基本的な生活習慣や豊かな感性を身に付けられるよう、**就学前教育の充実**を図ります。
 - － 主な取組 －
 - 家庭及び地域における幼児期の教育への支援
 - 幼児教育に携わる教職員の資質向上
 - 幼稚園・保育所・小学校の連携の充実 など

生きる力をはぐくむ

- 子どもが成長に応じて、基礎・基本となる知識等を習得し、課題を解決する能力を身に付け、自ら学習に取り組む意欲を高められるよう、家庭や地域の力を活かしながら、**確かな学力の育成**を図ります。
 - － 主な取組 －
 - 「わかる授業」の展開や家庭学習の習慣化等による確かな学力の育成
 - 教員OBなどの地域人材の活用による多様な教育活動への支援 など
- 子どもがお互いを認め合い、学校や地域でいきいきと学び成長できるよう、社会と接する機会や、自然体験活動を充実させるとともに、地域が一体となって子どもを育てる意識を高めるなど、子どもたちの豊かな人間性をはぐくむ**「心の教育」の充実**を図ります。
 - － 主な取組 －
 - 社会体験活動を通じた勤労観・職業観の育成
 - 豊かな自然とのふれあいや様々な人との交流などの体験活動の充実
 - 「栃木の子どもをみんなで育てよう」運動による県民の子育てに対する機運の醸成
 - いじめ・不登校などの問題行動等の未然防止や早期解決に向けた支援の強化 など
- 子どもが**基本的な生活習慣や望ましい食習慣**を身に付けるとともに、スポーツや文化活動に積極的に取り組めるよう、家庭や学校、地域における**環境づくり**を進めます。
 - － 主な取組 －
 - 規則正しい生活習慣や食習慣の確立
 - 「走る・跳ぶ・投げる」など児童生徒の基礎運動能力の向上 など
- **障害のある子ども一人ひとり**に応じた指導と支援を充実します。
 - － 主な取組 －
 - 個別の指導計画等に基づいた適切な指導及び必要な支援の充実
 - 発達障害児等の支援のための小・中・高の一貫した指導体制の確立 など

若者世代

一人ひとりの個性や能力を存分に発揮し、夢や目標の実現に向け自らの力で人生を切り拓いていけるよう、これからのとちぎを担う若者の自立する力をはぐくみます。

成果指標

☆ 新規学卒者(大学)の就職内定率

現況 (H21)
85.7%

目標 (H27)
95.0%

県内新規大学卒業予定者のうち就職希望者に対する就職内定者の割合
☆過去10年間における最高の就職内定率と同程度を目指します。

☆ 特別支援学校(知的障害)高等部卒業者の就職率

現況 (H21)
30.1%

目標 (H27)
33.0%

県内の知的障害者に対する教育を行う特別支援学校(8校)高等部卒業者に対する就職者の割合
☆卒業生3人に1人の就職を目指します。

取組の方向

自立する力をはぐくむ

- 若者が主体的に自らの進路を選択できる能力や、将来に向けて必要となる勤労観、職業観をはぐくむキャリア教育の充実を図ります。
 - － 主な取組 －
 - 企業等における多様な就業体験(インターンシップ)の機会の充実 など
- 社会の一員としての自覚を持ち、自ら力を発揮する意欲を高められるよう、若者の社会参加を促進します。
 - － 主な取組 －
 - ボランティアなどの体験活動の機会の充実 など
- 若者一人ひとりの希望や適性、能力に応じた専門的な就労相談や、自らの職業生活を切り拓く能力開発に向けた職業訓練などの支援を行います。
 - － 主な取組 －
 - 産業技術専門校における企業ニーズに合わせた訓練内容の充実
 - 高等特別支援学校^{※1}の整備推進 など

※1 軽度の知的障害がある生徒の職業的な自立を支援するための特別支援学校

大人世代

自己実現に向けて、様々なチャレンジやキャリアアップに取り組んでいけるよう、大人世代の挑戦を支援します。

取組の方向

挑戦する心をはぐくむ

- 創業に挑戦できる環境づくりを進めるとともに、職業選択の可能性を広げ、キャリアアップできるよう、**就労支援の充実**に取り組めます。
 - － 主な取組 －
 - 労働局などの関係機関との連携による就職支援の強化
 - 離職者等を対象とした職業訓練の充実 など
- **新たな知識や技術を習得し、能力向上を目指すことができる環境づくり**に取り組めます。
 - － 主な取組 －
 - 企業在職者の専門的知識の習得や技能の向上への支援 など
- **女性が社会の様々な分野でさらに活躍できる環境づくり**に取り組めます。
 - － 主な取組 －
 - 女性の再就職や起業など様々なチャレンジへの支援 など

子育て世代

子育てを通して自らも親として成長していけるよう、社会全体で子育て世代の子育て力を高めます。

取組の方向

子育て力をはぐくむ

- **親の子育て力を高めるとともに、やがて親となる世代の子育て力の育成**に取り組めます。
 - － 主な取組 －
 - 親学習プログラム^{※1}の活用など、子どもを育てる親や、やがて親となる世代に対する学習機会の充実
 - 家庭教育や子育てに不安を抱える親に対する電話・メール相談の実施 など
- **社会全体で家族の絆や子育て力をはぐくむ取組**を進めます。
 - － 主な取組 －
 - 「家庭の日^{※2}」の定着に向けた普及啓発
 - 「とちぎの子ども育成憲章^{※3}」の普及啓発 など

※1 子育てに関する悩みや不安を解消したり、子育てに必要な子どもとの接し方などの知識やスキルを学ぶ学習プログラム
※2 県では、毎月第3日曜日をふれあい育む「家庭の日」と定め、家族が絆を深め、話し合う機会を多く持つことができるよう、県民総ぐるみで様々な取組を展開している。
※3 心豊かでたくましい青少年をはぐくんでいくために、大人の自覚と行動をより一層促し、子どもを健全に育てていく基本理念や行動指針として、平成22年に制定された憲章



若者世代～大人世代

自らの個性や能力を活かし、とちぎづくりの担い手として活躍できるよう、若者や大人の社会参加を促進します。

成果指標

☆ 社会貢献活動参加率

現況 (H22)
18.0%

目標 (H27)
県民2人に1人以上の参加を目指す

県政世論調査で「現在、社会貢献活動に参加している」と回答した県民の割合

取組の方向

多様な能力を活かす

- 社会貢献活動についての意識を高め、活動への理解を深めることにより、一人ひとりの社会参加を促進します。
 - － 主な取組 －
 - NPO、ボランティア等の社会貢献活動への参加促進
 - 寄付文化の醸成 など
- NPO、ボランティア等に関する情報の提供や、人と活動とを結びつけるマッチング機能を強化するとともに、地域の課題解決や地域づくりに積極的に参加できるよう、県民協働の仕組みづくりに取り組みます。
 - － 主な取組 －
 - 社会貢献活動に参加したい人と活動とのマッチングを行う関係機関相互のネットワークの形成
 - 地域づくりや様々な課題解決に協働で取り組むための出会いと協議の場づくり など

シルバー世代

長年培ってきた知恵や能力を活かし、とちぎづくりに参画できるよう、シルバー世代の社会参加を促進します。

取組の方向

知恵と能力を活かす

- シルバー世代の社会参加への意欲を活動に結びつけるための仕組みづくりや交流機会の確保に取り組めます。
 - ー 主な取組 ー
 - シルバー大学校等における社会参加のきっかけづくりと人材の養成
 - 技能等の発表と伝承の場づくり など
- シルバー世代の経験や技術が発揮されるよう、就労支援の充実に取り組めます。
 - ー 主な取組 ー
 - 就労相談や就職情報の提供など、多様な働き方への支援 など



とちぎボランティアNPOセンターでの活動風景



シルバー大学校卒業生による施設訪問

文化を通じた人づくり



本県の優れた文化に親しむことを通じて、ふるさとへの愛着と帰属意識を高めるとともに、世代間のつながりを深めていけるよう、文化を通じた人づくりを進めます。



成果指標

☆ 芸術・文化活動等参加率

現況 (H22)
48.1%

目標 (H27)
県民2人に1人以上の参加を目指す

県政世論調査で「現在、芸術・文化活動を行っている」と回答した県民の割合

取組の方向

地域文化を通じた心豊かな人づくりと世代間交流の促進

- 生涯にわたり地域の文化や芸術に触れ、様々な活動に参加し、新しい文化を創造するなど、文化を通じた心豊かな人づくりを進めます。
 - － 主な取組 －
 - 文化の鑑賞・発表等の機会の提供 など
- 文化活動を通じた地域における世代間交流の場づくりに取り組みます。
 - － 主な取組 －
 - 地域の芸術家や伝統芸能保持者等の育成や各種文化芸術活動への支援
 - 文化振興基金の活用による地域の伝統的行事等の保存・継承活動への支援 など

スポーツを通じた人づくり



世代や地域を超えた交流を広げ、つながりを深めながら、健やかに生涯を楽しめるよう、スポーツを通じた人づくりを進めます。



成果指標

☆ スポーツ活動実施率

現況 (H22)
34.2%

目標 (H27)
県民2人に1人以上の実施を目指す

県政世論調査で「週に1日以上スポーツを行った」と回答した県民の割合

取組の方向

スポーツによる健やかな人づくりと世代間交流の促進

- 県民一人ひとりがスポーツに親しみ、それぞれの年齢、目的等に応じた体力の維持・増進を図るなど、スポーツを通じた健やかな人づくりを進めます。
 - － 主な取組 －
 - 総合スポーツゾーン※1の整備検討
 - 障害者がスポーツしやすい環境づくり など
- 誰もがいつでも、どこでも気軽にスポーツを楽しめる世代間交流の場づくりに取り組みます。
 - － 主な取組 －
 - 総合型地域スポーツクラブ※2の育成・支援 など

※1 県民総スポーツの推進拠点として整備を検討している栃木県総合運動公園（宇都宮市西川田）と隣接する元競馬場等を含めたエリア

※2 子どもから高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、身近な地域でスポーツに親しむことができるスポーツクラブ